

中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された 漢文の教材一覧（その2）

宮 崎 洋 一

筆者は、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧¹⁾」（以下、前稿と呼ぶ）において、平成16年度末検定済の中学校「国語」1～3の教科書のすべて（5社、各社1種）、平成17年度末検定済の高等学校「国語総合」の教科書のすべて（10社、計23種）、および、平成14年度末・平成18年度末・平成19年度末に検定済の高等学校「古典」から11社13種の教科書を選び、その中で漢文の教材として扱われた教材を収集し、全体で合計419種²⁾を整理し、その特徴などについて検討した。

本稿は、前稿を承けて、平成22年度末検定済の中学校「国語」1～3の教科書のすべて（5社、各社1種）、平成23年度末検定済の高等学校「国語総合」の教科書のすべて（9社23種）、および、平成24年度末の高等学校「古典 B」の教科書のすべて（10社18種）の中で、漢文の教材として扱われた教材を別表1に整理し、その特徴などについて検討しようとするものである。調査した教科書は、下記の通りである。

〈中学校〉

学図 『中学校 国語』1～3、学校図書、平成23年2月検定済（722・822・922）

教出 『伝え合う言葉 中学国語』1～3、教育出版、平成23年2月検定済（725・825・925）

三省堂 A『中学生の国語』1～3年・B『中学生の国語 学びを広げる』1～3年、三省堂、平成23年2月検定済（723・724/823・824/923・924）

東書 『新しい国語』1～3、東京書籍、平成23年2月検定済（721・821・921）

光村 『国語』1～3、光村図書、平成23年2月検定済（726・826・926）

〈高等学校「国語総合」〉

教出 a 『国語総合』教育出版、平成24年3月検定済（国総309）

教出 b 『新編 国語総合 言葉の世界へ』教育出版、平成24年3月検定済（国総310）

桐原 a 『探求 国語総合』(古典編) 桐原書店、平成24年 3 月検定済(国総330)
桐原 b 『国語総合』 桐原書店、平成24年 3 月検定済(国総331)
三省堂 a 『高等学校 国語総合』(古典編) 三省堂、平成24年 3 月検定済(国総306)
三省堂 b 『精選 国語総合』 三省堂、平成24年 3 月検定済(国総307)
三省堂 c 『明解 国語総合』 三省堂、平成24年 3 月検定済(国総308)
数研 a 『国語総合』(古典編) 数研出版、平成24年 3 月検定済(国総316)
数研 b 『高等学校 国語総合』 数研出版、平成24年 3 月検定済(国総317)
第一 a 『高等学校 新訂国語総合』(古典編) 第一学習社、平成24年 3 月検定済(国総325)
第一 b 『高等学校 国語総合』 第一学習社、平成24年 3 月検定済(国総326)
第一 c 『高等学校 標準国語総合』 第一学習社、平成24年 3 月検定済(国総327)
第一 d 『高等学校 新編国語総合』 第一学習社、平成24年 3 月検定済(国総328)
大修館 a 『国語総合』(古典編) 大修館書店、平成24年 3 月検定済(国総312)
大修館 b 『精選 国語総合』 大修館書店、平成24年 3 月検定済(国総313)
大修館 c 『新編 国語総合』 大修館書店、平成24年 3 月検定済(国総314)
筑摩 a 『精選 国語総合』(古典編) 筑摩書房、平成24年 3 月検定済(国総322)
筑摩 b 『国語総合』 筑摩書房、平成24年 3 月検定済(国総323)
東書 a 『新編 国語総合』 東京書籍、平成24年 3 月検定済(国総301)
東書 b 『精選 国語総合』 東京書籍、平成24年 3 月検定済(国総302)
東書 c 『国語総合』(古典編) 東京書籍、平成24年 3 月検定済(国総304)
明治 a 『高等学校 国語総合』 明治書院、平成24年 3 月検定済(国総318)
明治 b 『精選 国語総合』(古典編) 明治書院、平成24年 3 月検定済(国総320)
〈高等学校「古典 B」〉 10社18種
教出古 a 『古典 B 漢文編』 教育出版、平成25年 3 月検定済(古 B308)
教出古 b 『新編古典 B 言葉の世界へ』 教育出版、平成25年 3 月検定済(古 B309)
桐原古 a 『探求古典 B 漢文編』 桐原書店、平成25年 3 月検定済(古 B326)
桐原古 b 『古典 B』 桐原書店、平成25年 3 月検定済(古 B327)
三省堂古 a 『高等学校古典 B 漢文編』 三省堂、平成25年 3 月検定済(古 B305)
三省堂古 b 『精選古典 B』 三省堂、平成25年 3 月検定済(古 B306)
数研古 『古典 B 漢文編』 数研出版、平成25年 3 月検定済(古 B315)
第一古 a 『高等学校古典 B 漢文編』 第一学習社、平成25年 3 月検定済(古 B323)

第一古 b 『高等学校標準古典 B』 第一学習社、平成25年 3 月検定済 (古 B324)
大修館古 a 『古典 B 漢文編』 大修館書店、平成25年 3 月検定済 (古 B311)
大修館古 b 『精選古典 B』 大修館書店、平成25年 3 月検定済 (古 B312)
大修館古 c 『新編古典 B』 大修館書店、平成25年 3 月検定済 (古 B313)
筑摩古 『古典 B 漢文編』 筑摩書房、平成25年 3 月検定済 (古 B321)
東書古 a 『精選古典 B 漢文編』 東京書籍、平成25年 3 月検定済 (古 B303)
東書古 b 『新編古典 B』 東京書籍、平成25年 3 月検定済 (古 B301)
明治古 a 『精選古典 B 漢文編』 明治書院、平成25年 3 月検定済 (古 B317)
明治古 b 『高等学校古典 B』 明治書院、平成25年 3 月検定済 (古 B318)
右文古 『新編古典』 右文書院、平成25年 3 月検定済 (古 B319)

別表 1 の記載方法は、前稿とほぼ同じで、下記の通りである。

No. ……大きく中国と日本に分けた上での教材の通し番号。ゴシック・網掛けの数字の教材は、前稿で調査した教科書では取り上げられておらず、本稿の整理で、新たに加えられた教材を示す。

時代……中国と日本の時代や王朝。大きく中国と日本に分け、中国は、さらに「古代」(上古～後漢、紀元後220年まで)・「中世」(三国～唐五代、959年まで)・「近世」(宋～清、1911年まで)・「近現代」(1912年以降)に分けて太線で区切った。

文体……特に詩の場合にその型式を記した。古体詩の場合は「古詩」、さらに 1 句の字数が一定の場合は「五古」(五言古詩)など、近体詩の場合は「五絶」(五言絶句)「七律」(七言律詩)など。

出典／作者……その教材の出典や作者。

生卒……教材の中心人物や詩文の作者の生卒。本稿では、教材は、出典の書籍の成立年代ではなく、教材の中心人物や詩文の作者の時代順に並べた。例えば、No. 1 「鼓腹撃壤」は、太古の聖天子の堯が中心人物であるが、出典は元の曾先之の『十八史略』であるように、歴史書などでは、出典となった書籍が成立した時代と書かれている事件や人物の時代が離れている場合があるからである。

中学校「国語」／高等学校「国語総合」……中学校「国語」と高等学校「国語総合」における教材の掲載箇所。上記の一覧で冒頭に掲げた出版社の略称で大別した上で、中学校の「国語」は教材が載せられた学年と掲載ページをゴシックで記し、高等学校の「国語総合」は、同じ出版社の教科書は abc…で区別して掲載ページを明朝体で記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合は

その一つのみ掲載ページを記して、最後に+印を付した。

高等学校「古典 B」……高等学校「古典 B」における教材の掲載箇所。中学校「国語」／高等学校「国語総合」と同様に、出版社の略称で大別した上で掲載ページを記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合はその一つのみ掲載ページを記して、最後に+印を付した。

また、本稿では、前稿で調査した教科書では取り上げられていたが、本稿で調査した教科書では取り上げられなかった教材の一覧をあわせて作成した（別表2。別表1との重複を避けるため、冒頭の No. を数ではなく、「ン」を除いたカタカナ45字とひらがなで通した）。

前稿において指摘した、採られた漢文の教材が、

- ・中国の古代と中世に偏っていること
- ・高等学校の「国語総合」と「古典 B」の間で、『論語』はどちらにも採られているが、『老子』『荘子』『墨子』『荀子』などはほとんど「古典 B」で採られていること
- ・詩は近体詩が中心で古詩は「古典 B」で多く採られていること
- ・日本の漢文もほとんどが「古典 B」で採られていること

の大筋に変化はないが、特に今回の改訂において変わった点について整理しておきたい。

(1) 掲載された教材数の変化について

前稿と本稿の別表1を比較すると、前稿では教材数が合計419種だったのに対して、今回は442種で、23種（5.5%）増加している。

さらに細かく見てみると、中国の、古代の教材が224種から231種（別表1 No. 1～231）へ7種（前稿の224種に対する割合3.1%）増加、中世の教材が136種から146種（別表1 No. 232～377）へ10種（同7.6%）増加、近世の教材が21種から27種（別表1 No. 378～404）へ6種（同28.6%）増加、近現代の教材は数の上では変化なしで、中国の教材の合計は382種から405種へ23種増加している。（日本の教材も数の上では変化なし）。中国の中世と近世の教材がより増えている。

こうした漢文教材の数の増加は、教科書のページ数とも関係があるであろう。

中学校「国語」の教科書では、前稿の平成16年度末検定済の教科書に比べると、本稿の平成22年度末検定済の教科書の方が、A5版・B5版いずれの版型の場合も、

平均して15%以上ページ数が増加している。

高等学校「国語総合」の教科書では、前稿の平成17年度末検定済の教科書と、本稿の平成23年度末検定済の教科書とを比べると、現代文と古典とを分けない A5 版の版型のものでは、平均が352頁（全16種）から380頁（全14種）になって28頁（8.0%）増加している。また、古典のみの分冊になっている教科書では、平均で150頁（全4種）から179頁（全8種）になって29頁（19.3%）増加している。また1冊・分冊どちらの教科書も教科書間のページ数の差が大きくなっている。

(2) その他の特徴

このほかの特徴としては、まず中学校「国語」の漢文教材の種類が、19種から26種に増えていることがあげられる。特に、唐詩においては、前稿での調査では取り上げられていなかった王翰（No. 285）・柳宗元（No. 361）・杜牧（No. 373）が取り上げられるようになった。

中学校「国語」と高等学校「国語総合」との関係では、No. 189「矛盾」（『韓非子』）、No. 305「黄鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」（李白）、No. 323「春望」（杜甫）のように、中学校「国語」の多くの教科書で取り上げられている教材は、高等学校「国語総合」での重複が減っている。このことは、高等学校「国語総合」の一つの教科書の中で、取り上げられた漢文教材の内容が広がっていることを示している。

さらに全体として、『論語』の教材が、前稿の93種から81種に減っていることも注目される。特に多く取り上げられていた高等学校「国語総合」では、59種から47種に減少している。高等学校「国語総合」では、逆に中国の古代だけでも、『孟子』の種類が増えた（No. 148・149・151・152）ほかに、『老子』（No. 122）・『莊子』（No. 163）・「漁父の辞」（屈原、No. 173）・「完璧」（『史記』、No. 176）などが新たに加えられており、ここでも取り上げられた漢文教材の内容が広がって、全体として漢文教材が難しくなっていると思われる。

また、全体として、盛唐の詩も、58種から49種に減っている。にもかかわらず、中国の中世の漢文教材の数が増えているのは、唐より前の魏晋南北朝時代の、中でも『三国志』に関わる教材が増えていることも関わっている。魏晋南北朝時代の教材の多くや、これも教材数が増えた中国近世の明と清の時代の教材のほとんどが、いずれも高等学校「古典 B」で扱われる教材であることと、高等学校「古典 B」の漢文教材の数が、前稿の355種から392種に教材数が増えていることは、高等学校「古典 B」においても漢文教材の内容の広がりを裏付けると言える

であろう。

前稿に引き続いて、本稿では、平成22～24年度末検定済の中学校「国語」高等学校「国語総合」「古典 B」の教科書の漢文教材を調査し、前稿で調査した教科書との違いなどについて検討した。今後の改訂においても検討を続けてゆきたい。

注

- 1) 『文教国文学』第56号、広島文教女子大学国文学会、2012年2月、ISSN: 02863065、pp. 44(1)～28(17)。http://harp.lib.hiroshima-u.ac.jp/h-bunkyo/metadata/10735
- 2) 前稿では418種と指摘したが、前稿で1種と数えた「鴻門の会」（『史記』項羽本紀、前稿別表の中国 No. 197）の教材を、今回は5種に分けて数えているため4種増えた。また、「名と身といずれか親しき。身と貨といずれか多れる。」（『老子』第四十四章、前稿別表の中国 No. 132）と「山亭の夏日」（高駢、前稿別表の中国 No. 356）と「学は漸を以て 日に進むを貴ぶ」（貝原益軒、前稿別表の日本 No. 21）の3種は誤りため除外する。この結果、中国の古代が4種増えて1種削除し計224種、中国の中世が1種削除し計136種、中国の近世が計21種（訂正なし）、中国の近現代が計1種（訂正なし）で、中国の合計が382種、日本が1種削除し計37種、総合計が419種となる。以下の前稿の教材数はこの訂正した数による。

（本学教授）

別表1 平成22～24年度未検定済の中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典／作者	生卒	中学校 〔国語／高等学校「国語総合」 (平成22～23年度未検定済)〕	高等学校「古典B」 (平成24年度未検定済)
1	上古	政風巻縁		〔十八史略〕	堯	明治 a-326+	第一古 a-012+, 東書古 b-208
2	殷	伯夷・叔齊、天還は虎か非か	〔史記〕伯夷列伝	伯夷：BC100頃			三省堂古 a-116, 数研古-100, 筑摩古-032
3	殷	大公望	〔十八史略〕				東書古 b-158, 明治古 b-094
4	西周	紀憂	〔列子〕	紀：周代			柳原古 a-013+, 明治古 a-011+
5	西周	蔡邕大いに笑う	〔十八史略〕	周幽王：位 BC781-BC771			第一古 b-178
6	春秋	知に勉むること則ち難し	〔韓非子〕12説難	鄭武公：位 BC770-BC744			柳原古 a-145+, 大修館古 a-135+, 右文社-260
7	春秋	管鮑の交わり	〔十八史略〕／〔史記〕管晏列伝	管仲：P-RC645		教出 b-286, 柳原 a-106+, 筑摩 a-146+, 東書 b-354+	明治古 a-014
8	春秋	桓公書を堂上に読む。輪扁輪を意下しに斯る	〔莊子〕外篇天道	齊桓公：位 BC685-BC643			明治古 a-118
9	春秋	宋襄の仁	〔十八史略〕	宋襄：位 BC651-BC637			東書古 b-211
10	春秋	顔回の徳	〔梁穀子〕〔新序〕	孫叔敖：楚荘王の宰相	第-d-229		明治古 b-691
11	春秋	病膏に入る	〔淳秋左氏伝〕成公十年	BC581			柳原古 a-009+, 三省堂古 b-206, 筑摩古-010
12	春秋	饑天	〔詩経〕周南	春秋前半			教出古 a-037+, 柳原古 a-030+, 三省堂古 a-090+, 数研古-086, 大修館古 a-114+, 筑摩古-048, 東書古 a-068+, 明治古 a-022+, 右文社-203
13	春秋	古詩	子衿	春秋前半			第一古 b-250
14	春秋	古詩	陟岵	春秋前半			三省堂古 a-091+
15	春秋	古詩	碩風	春秋前半			東書古 a-069
16	春秋	古詩	詩経大序	春秋前半			筑摩古-088
17	春秋	鱗櫓の奔	〔淮南子〕人間訓	香恭公：位 BC552-BC548	明治 a-320+		第一古 a-086+, 大修館古 c-272
18	春秋	人ごとし其の宝を有するにしかず	〔新序〕節士／〔春秋左氏伝〕襄公十五年	子辛：BC567-BC546頃在世			三省堂古 b-202
19	春秋	李札剣を抜く	〔陳求〕	李札：BC561?-515P			東書古 a-155
20	春秋	兵の形は水に象とる	〔孫子〕虚実	孫武：BC506頃			第一古 a-008
21	春秋	呉越同舟	〔孫子〕	孫武：BC506頃			明治古 a-123
22	春秋	知に勝るは五有り…彼を知り己を如くば	〔孫子〕	孫武：BC506頃			数研古-008
23	春秋	天子の御	〔史記〕管晏列伝	晏嬰：P-RC300	教出 a-290+, 三省堂 b-334, 数研 a-108+, 東書 b-352		第一古 b-231
24	春秋	國人の罪。張公馬あり	〔史記〕09匡謫	張嬰：P-RC300			教出古 a-012+, 柳原古 a-080+, 数研古-012
25	春秋	江南の橋、江北の狼とある	〔説苑〕12犀使	晏嬰：P-RC300			数研古-062, 第一古 a-009+
26	春秋	愛憎の愛。逆鱗に象る。	〔韓非子〕12説難	衛鞅公：位 BC334-BC183			右文社-185
27	春秋	蔡西巴	〔韓非子〕12説難	孟孫公：BC331-BC481			
28	春秋	学びて時に之を習う。亦認ばしからずや	〔論語〕01学而	孔子：BC552-BC479		教出 b-208, 三省堂 a-021, 米村 3-190, 柳原 a-149+, 三省堂 a-135+, 数研 a-124, 第一 a-129+, 大修館 a-156+, 筑摩 a-160+, 東書 a-320+, 明治 a-344+	
29	春秋	其の人となりや者然にして、面も上を犯すを短む者は解なし	〔論語〕01学而	孔子：BC552-BC479	第一 a-130+		
30	春秋	巧言令色鮮な仁と	〔論語〕01学而	孔子：BC552-BC479	教出 a-310+, 三省堂 a-135+, 数研 a-127+, 第一 a-130+, 大修館 c-323, 東書 a-322+, 明治 a-346+		
31	春秋	吾日に三たび吾身を省みる	〔論語〕01学而	孔子：BC552-BC479	柳原 a-150+, 三省堂 a-136+, 大修館 c-331, 東書 a-321+		第一古 a-058
32	春秋	弟子 入りては則ち孝	〔論語〕01学而	孔子：BC552-BC479	東書 c-159		第一古 a-060

33	春秋	礼の用は相を費しと爲す	論語1 01学而	孔子：BC552?-BC479	東晋古 a-654
34	春秋	君子は禽飢かんとを求むることなし	論語1 01学而	孔子：BC552?-BC479	大修館古 c-252
35	春秋	可なり。未だ復しくして楽しみ當み	論語1 01学而	孔子：BC552?-BC479	石文士-210
36	春秋	人の己を知らざるを患えず	論語1 01学而	孔子：BC552?-BC479	石文士-207
37	春秋	政を爲す仁徳を以てすれば譬えば比	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	柳原古 a-063+, 三省堂古 a-049+, 教研古-048
38	春秋	比の比の所に陥りて	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	
39	春秋	之を運くに政を以てして、之を齊うる	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	
40	春秋	昔 十有五にして季に志す	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	第一古 b-217
41	春秋	今の孝は、これより養うを謂う。	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	
42	春秋	故きを思ひて新しきを知れば、以て	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	
43	春秋	學びて思わざれば聞かざらん	論語1 03為政	孔子：BC552?-BC479	
44	春秋	由よ女に之を知るを講えんか	論語1 02為政	孔子：BC552?-BC479	柳原古 a-063+, 第一古 a-060
45	春秋	十世知るべきや	論語1 03人份	孔子：BC552?-BC479	東晋古 a-054
46	春秋	木鐸。二三子や、何ぞ知ることと思	論語1 03人份	孔子：BC552?-BC479	石文士-210
47	春秋	雷と雷とは是れ人の激する所なり	論語1 04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂古 a-048+
48	春秋	は 道に志して悪衣惡食を恥ずる者	論語1 04里仁	孔子：BC552?-BC479	
49	春秋	參や、吾道は一以て之を貫くと	論語1 04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂 a-136+, 大修館 c-330
50	春秋	君子は義に靡り、小人は利に靡る	論語1 04里仁	孔子：BC552?-BC479	筑摩 a-163+
51	春秋	父母の事知らざるべからず	論語1 04里仁	孔子：BC552?-BC479	東晋古 a-048+
52	春秋	徳孤ならず、必ず隣有り	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	第一古 a-659, 筑摩古-068
53	春秋	道行われず、躬に乗りて海に浮か	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-653, 東晋古 a-145
54	春秋	しや、干棗の国其の風を治めしむべ	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	東晋古 a-151
55	春秋	女と回や猶れか愈れると。	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-652, 東晋古 a-144
56	春秋	朽木は彫るべからず。糞土の墾は朽	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-652
57	春秋	るべからず	論語1 05公治長	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-653, 第一古 b-218
58	春秋	なんぞ吾なんしの志を言わざる…老	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	
59	春秋	賢なるかか回や。一筆の負、一瓢の	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	第一古 b-216
60	春秋	飲、顔徳に在り	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-654, 東晋古 a-144
61	春秋	子の道を説ばざるに斯す	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-656+
62	春秋	女、人を得たりや…行くに淫に由	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	教出古 a-652
63	春秋	す	論語1 06雍也	孔子：BC552?-BC479	大修館古 a-068+

62	春秋		賈、文に勝れば則ち野、文、賈に勝れば則ち苑。 之を知る者は之を好む者にしかず。	【論語】 06雑也	孔子： BC552?-BC479	大修館古 c-253
63	春秋		之を知る者は之を好む者にしかず。	【論語】 06雑也	孔子： BC552?-BC479	筑摩古-065
64	春秋		何ぞ仁を事とせんと、必ずや聖か。	【論語】 06雑也	第一 a-130+	東洋古 a-152
65	春秋		積せざるは敗せず、積せずんば発せず。一隅を養けて	【論語】 07述而	筑摩 a-161+, 東書 b-363+, 明治 a-345+	柳原古 a-063+, 第一古 a-061, 右文古-207
66	春秋		之を用ふるは則ち行ひ、之を會つれば則ち處る	【論語】 07述而	数研 a-130+	大修館古 a-059+
67	春秋		蔬食を厭らい水を飲み	【論語】 07述而	教出 b-305, 数研 a-127+	
68	春秋		其の人とありや、積りを發して食を忘れ	【論語】 07述而	孔子： BC552?-BC479	教出古 b-216
69	春秋		我は生まれながらにして之を知る者に非ず	【論語】 07述而	孔子： BC552?-BC479	筑摩古-064
70	春秋		三人行けば、必ず我が師有り。其の善なる者を取びて	【論語】 07述而	孔子： BC552?-BC479	教出古 b-216, 柳原古 a-064+, 第一古 a-058+, 筑摩古-064
71	春秋		人に違ふらんや。我仁を欲つすれば斯に仁を發す	【論語】 07述而	孔子： BC552?-BC479	
72	春秋		字は及ばざるが如くするも	【論語】 08泰伯	孔子： BC552?-BC479	第一古 a-060
73	春秋		かつつたなどい大難を得ずとも	【論語】 09子罕	孔子： BC552?-BC479	筑摩古-068
74	春秋		速く者は遅くは速く、	【論語】 09子罕	東書 c-160, 明治 a-346+	
75	春秋		積まば出るを為るが如し。未だ一簣を成さざる	【論語】 09子罕	明治 a-345+	右文古-208
76	春秋		鹿奔けり。子朝より速きて曰く、人を勝つくるか。馬を問わす。	【論語】 10郷党	教出 b-306, 三省堂 c-284, 数研 a-127+, 東書 a-322+	
77	春秋		未だ人に事うること能はず	【論語】 11先進	教出 a-312	
78	春秋		師や過ぎたり。師や及はず	【論語】 11先進	孔子： BC552?-BC479	教出古 a-054, 柳原古 a-064+, 大修館古 a-057+
79	春秋		父兄の存る有り。之を知所老其間くがままに服れ之を行わんと	【論語】 11先進	孔子： BC552?-BC479	大修館古 a-060+, 右文古-209
80	春秋		己に見らでれに復るを仁と爲す	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	
81	春秋		己の欲せるところは、人に施すことなかれ	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	東書 c-160
82	春秋		君子は嫁えず懼れずと	【論語】 12顔淵	教出 2-079 /	
83	春秋		人皆兄弟あり	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	柳原古 a-064+
84	春秋		眞を足らし兵を足らし民之を信にす	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	東洋古 a-049
85	春秋		政は正なり。子。帥いるに正を以つてせば、孰が敢て止しからざらん	【論語】 12顔淵	教出 a-313, 柳原 a-152+, 数研 a-129+, 第一 a-132+, 大修館 a-160+, 東書 a-323+, 明治 a-348+	三省堂古 a-049+, 右文古-208
86	春秋		子。政を為すにいずくんぞ殺を用いん	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	第一 a-132+, 筑摩 a-169+, 明治 a-348+
87	春秋		君子は人の美を成して人の惡を成さず	【論語】 12顔淵	孔子： BC552?-BC479	筑摩 a-164+
88	春秋		其の身を正しければかせずして行われ	【論語】 13子路	孔子： BC552?-BC479	三省堂 c-286
89	春秋		父は子の為に隠し、子は父の為に隠す	【論語】 13子路	孔子： BC552?-BC479	柳原 a-151+, 大修館 a-159+, 東書 a-322+
90	春秋		君子は相して同せず、小人は同じて相せず	【論語】 13子路	孔子： BC552?-BC479	柳原 a-151+, 数研 a-127+, 大修館 a-159+, 明治 a-347+
						東書 3-109 / 教出 a-311, 大修館 c-330
						第一古 a-059

91	春秋	啻殿木納 仁に近し	論語] 13子路	孔子：BC552-BC479	史料3-19) / 教出 a-310+, 三省堂 a-135+, 大修館 c-329	第一古 b-217 東洋古 a-455 筑摩古-064 大修館古 a-066+
92	春秋	歎くことなかれ。而して之を思ふ	論語] 14憲問	孔子：BC552-BC479		
93	春秋	古の学が術は己の爲に、今の学が術は人の爲に	論語] 14憲問	孔子：BC552-BC479	第一 a-129+	
94	春秋	子路君子を問う。子曰く、己を修めて以て君子と	論語] 14憲問	孔子：BC552-BC479		
95	春秋	君子固より窮す。小人窮すれば斯に	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479		柳原古 a-065+, 右文古-208
96	春秋	賜や、なふし子をもって多く学びて之を識る者ど爲すか	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479		筑摩古-066
97	春秋	之を如何せん、之を如何せんと言ふ者は	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479		筑摩古-065
98	春秋	君子はこれを己に求め、小人はこれを人に求む	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479	筑摩 a-163+	
99	春秋	一言にして以て終身之を行う者有る	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479	学園2-230, 東書3-110 / 柳原 a-151+, 三省堂 a-136+, 教研 a-129+, 第一 a-131+, 大修館 c-331, 東書 c-159, 明治 a-347+	筑摩古-066
100	春秋	人よく道を弘む。道の人を弘むるに	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479	東書3-109 / 教出 a-311 大修館 a-157+	筑摩古-068
101	春秋	道ちて改めざる。是れを遇ち三言う	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479		東洋古 a-048+
102	春秋	吾かつて終日食らわす	論語] 15衛霊公	孔子：BC552-BC479		東洋古 a-048+
103	春秋	子もまな異國あるか。	論語] 16季氏	孔子：BC552-BC479	教出古 b-217, 右文古-211	教出古 b-217, 右文古-211
104	春秋	性あい違き也	論語] 17陽貨	孔子：BC552-BC479		東洋古 a-048+
105	春秋	子。武城にゆき弦歌の声を聞く。… 鶴を聞くに「いすくんを平角を用いん	論語] 17陽貨	孔子：BC552-BC479		大修館古 a-067+, 東洋古 a-055+
106	春秋	由よ、なんじ六言の六駁を問けるか	論語] 17陽貨	孔子：BC552-BC479		筑摩古-066
107	春秋	長沮桀溺淵して耕す。孔子之を過ぎ	論語] 18微子	孔子：BC552-BC479	三省堂古 a-050, 教研古-048, 筑摩古-069, 東洋古 b-196	
108	春秋	子船從いて後。又人の杖をもつてを向うに過り	論語] 18微子	孔子：BC552-BC479		第一古 b-218
109	春秋	晉政は虚よりも猛るるなり	礼記] 檀弓下	孔子：BC552-BC479	筑摩 a-165+, 東書 c-131	右文古-180
110	春秋	子路	史記]	子路：BC452-BC480		柳原古 a-087+
111	春秋	後患を顧みず	陽春] 09正議	夫差：位 BC495-BC473		柳原古 a-074+, 三省堂古 a-012+, 第一古 a-085+, 明治古 b-131
112	春秋	臥薪嘗胆	十八史略]	句践：位 BC496-BC465	柳原 a-126+, 三省堂 a-128, 大修館 a-124, 東書 b-356+, 明治 a-328+	
113	春秋	知言	呂氏春秋]	伯牙：春秋楚國	柳原 a-112+	
114	春秋	鄭人に且に腹を買わんとする者有り	呂氏春秋]	鄭非子] 32外儲説左上		教研古-070, 第一古 a-010, 大修館古 a-008+, 東洋古 b-154
115	春秋	助長	[孟子] 公孫丑上	朱：春秋楚國	教出古 b-179, 教研古-008, 明治古 a-052+	教出古 b-179, 教研古-008, 明治古 a-052+
116	春秋	朝三暮四	列子] 黃帝	朱：春秋楚國	教出 a-284, 三省堂 a-112, 教研 a-102+, 大修館 a-119, 東洋 a-128+, 東書 c-130	第一古 b-172, 大修館古 c-212, 右文古-182
117	春秋	宋人に子を嫁する者あり。	淮南子] 汜論訓	宋：春秋楚國		第一古 b-236
118	春秋	唇にふれば歯寒し	戰國策] 趙策	智伯：? BC653		第一古 a-091
119	春秋	楚の恵王、麇を吞む	[新序] 雜事	楚恵王：位 BC488-BC432		第一古 b-233
120	戦国	實を尚ばざれば民をして争わざらしむ	[老子] 03章	老子：BC400頃?		教研古-066, 東洋古 a-066, 右文古-252
121	戦国	無用の用 三十幅 一鞭を共にす	[老子] 11章	老子：BC400頃?		教出古 b-290, 柳原古 a-139+, 教研古-066, 筑摩古-152, 東洋古 a-052+, 右文古-253
122	戦国	大運廢れて仁義有り、智識出でて大偽あり	[老子] 18章	老子：BC400頃?	教出 b-308	柳原古 a-140+, 三省堂古 a-055+, 第一古 a-140, 大修館古 a-131+, 東洋古 a-148, 明治古 a-116+

152	戦国	人に存する者は、胠子より良きはな し	孟子「四端要上」	孟子：BC372?-BC289?	筑摩 a-166+	柳田古 a-068+, 三省堂古 a-140+, 教研古-052, 第一古 a-063, 大修館古 a-063+, 筑摩古 a-071, 東洋古 a-050, 明治古 a-112+
153	戦国	性はお湯水のごとくもなり。…水は 往に東西を分かつ無きも、上下を分 けたんや	孟子「06告子上」	孟子：BC372?-BC289?	第一古 b-220, 東洋古 a-145 右文古-213	
154	戦国	仁は人の心なり。義は人の路なり	孟子「06告子上」	孟子：BC372?-BC289?	東洋古 a-146	
155	戦国	天爵・人爵	孟子「06告子上」	孟子：BC372?-BC289?	三省堂古 a-146+	
156	戦国	君子に三樂あり、而して天下に王た るは	孟子「07尽心上」	孟子：BC372?-BC289?	柳田古 a-142+	
157	戦国	愚公山を移す、太行・王屋二山は万 七百里	列子「湯問」	荘子より前?	三省堂古 a-149+, 筑摩古-085, 明治古 a-056	
158	戦国	不死の道	列子「説符」	荘子より前?	第一古 a-088	
159	戦国	運鳥舞いで下らず	列子	荘子より前?	明治古 b-130	
160	戦国	紀昌目を貫く	「豫求」	「列子」にもあり	三省堂古 a-007+	
161	戦国	北冥に魚有り其の名を鵬と為す	莊子「内篇逍遥遊」	莊周：BC369?-BC286?	三省堂古 a-146+	
162	戦国	言大にして用無し。子狙り狸狴を見 すや。身を卑くして伏し、以て敬ぶ 者を敬ぶ。	莊子「内篇逍遥遊」	莊周：BC369?-BC286?	柳田古 a-142+	
163	戦国	夢に胡蝶と為る	莊子「内篇齊物論」	莊周：BC369?-BC286?	柳田古 a-144+, 三省堂古 a-145+, 教研古-060, 第一古 b-225, 筑摩古-156, 明治古 a-050+, 右文古-255	
164	戦国	渾沌、南海の帝を楪と為し	莊子「内篇心帝王」	莊周：BC369?-BC286?	教田古 b-319	
165	戦国	馬騰以て鬻鬻を毀むべく、毛以て風 象を驚くべし	莊子「外篇馬蹄」	莊周：BC369?-BC286?	三省堂古 a-057+, 教研古-059, 第一古 a-143, 大修館古 a-133 +, 筑摩古-044, 東洋古 a-052+, 明治古 a-051	
166	戦国	尾を塗中に曳く	莊子「外篇秋水」	莊周：BC369?-BC286?	第一古 b-224	
167	戦国	鶴 腐鼠を得たり	莊子「外篇秋水」	莊周：BC369?-BC286?	東洋古 a-084	
168	戦国	鯀魚 出でて遊ぶこと夜昏たり	莊子「外篇秋水」	莊周：BC369?-BC286?	第一古 b-260	
169	戦国	木鶴 紀渚子王の爲に鵬鶴を養う	莊子「外篇養生」	莊周：BC369?-BC286?	教田古 a-046+, 三省堂古 a-098+, 教研古-040, 筑摩古-054, 東 洋古 a-076, 明治古 a-058, 右文古-189	
170	戦国	足を削りて之を墊る。無形を知りて 如てるとしに用を乞うべし。	莊子「雜篇外物」	莊周：BC369?-BC286?	第一古 a-124+	
171	戦国	先ず鷹より好むよ	韓國「策」 燕策「十八史 略」	燕昭王：位 BC311-BC279	柳田古 a-012+, 大修館古 c-276, 筑摩古-012, 東洋古 a-008	
172	戦国	魏鶴狗噬	孟嘗君：?-BC279?	孟嘗君：?-BC279?	東洋古 a-084	
173	戦国	地騰 孟嘗君 時に齊に相たりて、	史記「孟嘗君列伝」	孟嘗君：?-BC279?	第一古 b-260	
174	戦国	漁父の辭	屈原	BC343?-BC277?	教田古 a-073, 柳原古 a-124+, 三省堂古 a-124+, 東洋古 b-239, 明治古 a-100	
175	戦国	信陵君、魏の公子無忌は、魏の昭王 の少子にして	史記「魏公子列伝」	信陵君：?-BC243	三省堂古 a-066, 柳原古 a-120+, 三省堂古 a-120+, 東洋古 a-086, 明治古 b-096	
176	戦国	璧を完うして帰る	史記「廉頗閻相如列伝」/ 十八史略」	趙惠文王：位 BC288-BC266	教田古 a-073, 柳原古 a-125+, 三省堂古 a-124+, 東洋古 b-239, 明治古 a-100	
177	戦国	魏池の会	史記「廉頗閻相如列伝」/ 十八史略」	趙惠文王：位 BC288-BC266	東洋古 a-076, 明治古 a-058, 右文古-189	
178	戦国	刺頭のおわり	史記「廉頗閻相如列伝」	趙惠文王：位 BC288-BC266	教田古 a-073, 柳原古 a-124+, 三省堂古 a-124+, 東洋古 b-239, 明治古 a-100	
179	戦国	漁夫の利	韓國「策」 燕策	趙惠文王：位 BC288-BC266	柳原古 a-110, 三省堂古 a-110+, 教研古-066+, 第一古 a-102+, 東洋古 b- 337	

180	戦国	趙の太后	戰國策】趙策	趙惠文王（位 BC288-BC266）の后		第一古 a-095	
181	戦国	不死の薬	韓非子】22諷林上／「戦国策」	楚項襄王：？-BC263		大修館古 b-276+, 筑摩古-080, 東書古 a-010, 明治古 a-054	
182	戦国	無用の鷓鴣	【策苑】	魏安釐王：位 BC276-BC243	第一 a-124	教田古 a-104+, 柳原古 a-069+, 三省堂古 a-142+, 東書古 b-190	
183	戦国	学は以て巴もべからず。青は之を藍より取りて	荀子】勸学	荀況： BC313?-BC288?		柳原古 a-070+	
184	戦国	星隊ち、木鳴る	荀子】天論	荀況： BC313?-BC288?		教田古 a-068+, 柳原古 a-071+, 三省堂古 a-064+, 大修館古 a-064+, 筑摩古-076, 東書古 a-061+, 明治古 a-114+, 石文古-216	
185	戦国	人の性は悪なり	荀子】性悪	荀況： BC313?-BC288?		東書古 b-193	
186	戦国	舟に親みて剣を求む	呂氏春秋】	呂不韋： BC?-BC235		大修館古 a-096	
187	戦国	呂不韋	史記】呂不韋列伝	呂不韋： BC?-BC235		第一古 b-226	
188	戦国	刻削の道、鼻は大なるにしくはなく、才盾	韓非子】22諷林下	韓非： BC295?-BC233		明治古 b-086	
189	戦国	母の子を愛するや、	韓非子】38唯一	韓非： BC295?-BC233	聖因 1-223, 教田 1-80, 三省堂 IA-165, 東書 1-108, 光村 1-148 / 教研 a-088+, 第一 c-300+, 大修館 a-116+, 東書 b-352	大修館古 a-139+	
190	戦国	愛に非ざるを愛す	韓非子】46八説	韓非： BC295?-BC233		第一古 a-145	
191	戦国	守株 聖人は修古を閉せず。	韓非子】47八説	韓非： BC295?-BC233	大修館 c-302, 東書 a-294, 明治 a-318+	三省堂古 a-151+	
192	戦国	公私相背	韓非子】49五蠹	韓非： BC295?-BC233		教田古 a-108+	
193	戦国	法は王の本なり、刑は愛の自めなり。	韓非子】54心度	韓非： BC295?-BC233		教田古 b-252	
194	戦国	刑罰	【史記】韓客列伝／「十八史略」	刑罰：？BC227		第一古 a-132, 大修館古 a-106+, 石文古-218	
195	戦国	泉 塲に逢う	【策苑】 16談義				
196	戦国	鹿を指して鳥と為す	十八史略】	趙高：？-BC207	第一 d-238	東書古 b-213, 明治古 b-088	
197	秦	燕雀いすくんぞ頸鶴の志を知らんや	十八史略】	陳勝：？-BC208	第一 c-316	三省堂古 a-135, 大修館古 a-084+	
198	秦	劉琨、大丈夫当に此くの如くなるべきなり	【史記】高祖本紀	劉琨： BC247?-BC195		大修館古 a-032+	
199	秦	項羽 項籍少き時、書を学びて成らず	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
200	秦	鴻門の会 楚項ゆくゆく秦の地を略定し函谷關に至る	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
201	秦	鴻門の会 沛公且日百秦將を従え	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
202	秦	鴻門の会 項王項羽は東譚して幸し…是に於いて張良を西門に至り…項羽に、龍金裝きて西門して立身…項王曰く、壯士なり。よく復た放むか	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
203	秦	鴻門の会 沛公すでに出づ。項王部將陳平をして	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
204	秦	鴻門の会 項王入りて謝して日く、沛公枯朽に勝えず、	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
205	秦	宮殿放火 居ること教田、項羽兵を引き、	【史記】項羽本紀	項羽： BC232-BC202			
206	秦						

207	秦	四面楚歌	史記 項羽本紀	項羽：BC232-BC202	史料3-280 /	教出古 a-027+, 柳原古 a-038+, 三省堂古 a-039+, 教研古-032, 明治古 a-040+, 大修館古 a-042+, 丸文古-288
208	秦	項王自刎、烏江亭	史記 項羽本紀	項羽：BC232-BC202		教出古 a-040+, 丸文古-288
209	前漢		史記 高祖本紀	劉邦：BC247?-BC196		東書古 a-043
210	前漢	吾の天下を有らし所豈の者は何ぞや 威、海内に加わりて威顧に帰る。大 魚の歌	史記 高祖本紀	劉邦：BC247?-BC196		三省堂古 a-137
211	前漢	魚して榜下より出づ	史記 淮陰侯列伝	韓信：BC-BC196		東書古 a-112
212	前漢	信しは、是を何と語り何之を奇とす 困士無双	史記 淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		筑摩古-123
213	前漢	水を菅にして陳す	史記 淮陰侯列伝 / 十八史略 大史略	韓信：BC?-BC196		柳古 a-018+, 第一古 b-180, 東書古 a-115, 明治古 a-010+
214	前漢	夜免死して良駒穿る	史記 淮陰侯列伝	韓信：BC?-BC196		東書古 a-118
215	前漢	張良 圯上の老父	史記 留侯世家	張良：?-BC189		筑摩古-119
216	前漢	張翁が馬	淮南子 人間訓	劉安：BC179-BC122	教出 a-286, 柳原 a-114+, 筑摩 a-132+, 東書 b-338+	大修館古 a-014+, 東書古 b-194, 明治古 a-008, 丸文古-184
217	前漢	李広、石に中りて矢を没す。疑漢	史記 李將軍列伝 / 蒙 求	李広：BC?-BC119		筑摩古-082, 明治古 b-246
218	前漢	古詩	秋風の詩	BC156-BC87		三省堂古 a-094+, 筑摩古-099
219	前漢	蘇武と李陵。蘇武節を持す。	賢治通鑑 / 十八史略	蘇武：BC140-BC60		柳原古 a-131, 東書古 a-012, 明治古 a-126
220	前漢	王昭君	西京雜記 / 世説新語	漢元帝：位 BC149-BC33	東書 a-316	教出古 a-010, 三省堂古 a-014, 明治古 b-214
221	前漢	古詩	上邪	陳腐詩集		東書古 b-217
222	後漢	楊震の妻	後漢書 宋弘伝	光武帝：位25-57		大修館古 a-012+, 東書古 b-156
223	後漢	陽羨顧雍記	陽羨顧雍記	永平三年：60年	第一 a-136	明治古 a-086
224	後漢	天台二女	幽明錄	AD62		
225	後漢	天知る地知る。震 四知を見る	賢治通鑑 / 蒙求	楊震：54-124		明治古 a-009
226	後漢	梁上の君子	後漢書 陽範伝	陽範：104-187		教出古 a-008, 柳原古 a-011+, 三省堂古 b-204, 教研古-072
227	後漢	小晴了了 孔文學、年十歳にして父 に隨いて	世説新語	孔文學：153-208		東書古 a-060
228	後漢		搜神記			明治古 b-220
229	後漢	古詩	死友 范式と張劭 行き行る重ねて行き行く	文選		教出古 a-038+, 柳原古 a-031+, 三省堂古 a-092, 第一古 a-100, 大修館古 a-115+, 東書古 a-070
230	後漢	古詩	返珪たる養牛屋	文選		教研古-087
231	後漢	古詩	生年百に満たす	文選		三省堂古 a-033+
232	三国		孫少くして孫奮、權敬有り。任峻放 逸にして	曹操：155-220		三省堂古 a-078+
233	三国		魏武 刀を振る	曹操：155-220	東書 a-312	三省堂古 a-080+
234	三国		魏武帝に云う我が眼中に妾に近づ くべからず	曹操：155-220		教出古 b-237
235	三国		魏武帝に言う人己を危うくせんと欲 すれば	曹操：155-220		
236	三国		畿頭に台字を題す	曹操：155-220		三省堂 c-287
237	三国		前に六いなる梅林あり	曹操：155-220		三省堂 c-288
238	三国		關羽と趙雲	關羽：?-219		教出古 b-230
239	三国		張飛大いに長坂橋を隔がす	張飛：?-221		第一古 a-075

240	三国	華歌、王胡頂に船に乗りて難を置く	世説新語]	華歌：157-231	東書 a-314	数研古-010
241	三国	備嘗て妻の坐において起ちて顔に至る	[十八史略]	劉備：161-223		三省堂古 a-081+
242	三国	劉備の死 股肚の力をつくす	[十八史略]	劉備：161-223		大修館古 c-298, 東書古 a-015+
243	三国	燕喜孔明、孔明風龍、三顧の礼、水	[三國志]/[蒙求]	諸葛亮：181-234		教出古 b-234, 柳原古 a-078+, 三省堂古 a-082+, 第一古 b-240, 大修館古 c-294, 東書古 b-200, 明治古 a-130, 右文古-266
244	三国	魚の文あり	[十八史略]	諸葛亮：181-234		東書古 a-088
245	三国	諸葛孔明、出師の表	[十八史略]	諸葛亮：181-234		東書古 b-204
246	三国	諸葛亮智をもつて斬首に算る	[三國志海義]	諸葛亮：181-234		第一古 a-078
247	三国	魏の将呂蒙初め学ばず。權蒙に勧めて書を讀まじむ	[十八史略]	孫権：182-232		三省堂古 b-276
248	三国	赤壁の戰、曹操劉表を撃つ。表卒す。子の孫權州を争ひて	[十八史略]/[三國志]	208年		柳原古 a-015+, 三省堂古 a-086+, 第一古 b-243, 明治古 a-018+
249	三国	死せる諸葛、生ける仲達を走らす	[十八史略]	司馬懿：179-251	教出 a-295+, 三省堂 c-290, 筑摩 a-153+	
250	三国	典論 論文	[文選]	曹丕：186-226		筑摩古-090
251	三国	七步の詩	[世説新語]	曹植：192-232		柳原古 a-032+, 第一古 b-250, 明治古 b-217
252	三国	野田黄雀行	[古詩源]	曹植：192-232		明治古 b-249
253	三国	鄧哀王曹冲	[三國志]	曹冲：196-208		教出古 a-014
254	三国	青眼に開	[世説新語]	阮籍：210-263		明治古 b-218
255	西晋	石に凍き流に枕す	[世説新語]/[蒙求]	嵇子稱：218?-293		柳原古 a-008+, 三省堂古 a-006+, 数研古-009, 大修館古 a-011+, 東書古 a-016, 明治古 a-066
256	西晋	此必ず吾李そらん	[世説新語]	王敦：234-305		教出古 b-178
257	西晋	復活	[世神記]	晋武帝：236-290		
258	西晋	三機、明倫年少き時、明源侯氣にして羸馬の狙う所を為る	[世説新語]	周處：226-297		柳原古 a-078+, 数研古-074
259	西晋	兎を売る、南陽の宋定伯	[世神記]/[太平広記]	石崇：249-300		数研古-076, 大修館古 a-076+, 筑摩古-046, 東書古 a-064
260	西晋	千日の闇、秋希は中山の人なり	[世神記]	元帝：位317-322		教出古 a-114+, 筑摩古-049
261	東晋	長安は日の遠きにかん	[世説新語]	咸康：325-342		大修館古 b-274, 東書古 a-062
262	東晋	白鶴	[世説新語]	咸康：325-342		筑摩古-052
263	東晋	瑛雪の功	[蒙求]	桓温：312-373	明治古 b-107	東書古 b-155
264	東晋	王子猷、此君。	[世説新語]	桓温：312-373		明治古 b-089
265	東晋	飲酒	陶潜	王子猷：?-388		右文古-185
266	東晋	子を貰む	陶潜	365-427		教出古 a-038+, 三省堂古 a-095+, 大修館古 a-116+, 筑摩古-100, 東書古 a-071+, 明治古 a-023
267	東晋	雑詩	陶潜	365-427		第一古 a-101
268	東晋	婦去來の辭	陶潜	365-427		第一古 b-251
269	東晋	桃花源記	陶潜	365-427		右文古-232
270	東晋	五柳先生の伝	陶潜	365-427	三省堂 a-142, 第一 a-139+, 明治 a-352+	
271	東晋	新死鬼	[幽明録]	365-427		教出古 a-048+, 柳原古 a-042+, 三省堂古 b-231, 数研古-043, 大修館古 a-048+, 筑摩古-016, 東書古 a-134+
272	南北	鞠の歌	[陳符詩集]/[古詩賞析]	解偉金：北齐		明治古 b-118
273	南北	鞠動の歌	[陳符詩集]/[古詩賞析]	解偉金：北齐		第一古 a-027+
274	南北	画堂點譜	[歷代名画記]	梁武帝：位502-549	筑摩 a-126+	柳原古 a-038+, 数研古-011, 第一古 b-170, 大修館古 a-009+, 明治古 b-088
275	隋	杜子春伝	李復言	杜子春：北周・隋		三省堂古 a-109+

276	初唐	路 還たるを拾わず(貞観の治)	十八史略	唐太宗: 597-649	右文古-221
277	初唐	創業守成(貞観の治)	十八史略	唐太宗: 597-649	明治古 b-107, 右文古-223
278	初唐	西域の賈胡(貞観の治)	十八史略	唐太宗: 597-649	右文古-224
279	初唐	五絶 易水送別	賢東王	640?-684?	大修館古 b-287, 東書古 a-111
280	初唐	杜少府の任に蜀州に之く	王勃	649?-676?	三省堂古 a-019
281	初唐	七古 白頭を賦し翁に代わる	劉延芝	651-702?	大修館 a-148
282	初唐	七絶 驪に帰りてまたま書す	賀知章	659-744	教出古 a-040, 教研古-088
283	初唐	古詩 西州台に登る歌	陳玄祐	661-702	東書古 a-072
284	初唐	雜記 魏	張鷟, 692年、衡州に家す		教出古 a-116, 筑摩古-132, 東書古 a-138, 明治古 a-090
285	盛唐	七絶 涼州詞	王翰	687?-720?	三省堂古 b-212, 明治古 b-110, 右文古-197
286	盛唐	五絶 鶴鶴樓に登る	王之渙	688-742	筑摩古-024, 右文古-196
287	盛唐	七絶 涼州詞	王之渙	688-742	教出古 b-201
288	盛唐	五絶 建德江に宿る	孟浩然	689-740	三省堂古 a-017+, 東書古 a-020+
289	盛唐	五絶 春曉	孟浩然	689-740	筑摩古-027, 東書古 a-066, 右文古-200
290	盛唐	五律 故人の荘に過る	孟浩然	689-740	桐原古 a-028+, 第一古 b-186
291	盛唐	五律 洞庭に臨む	孟浩然	689-740	第一古 a-030+, 大修館古 c-316, 明治古 a-094
292	盛唐	律中記	沈既濟		柳田古 a-027+, 三省堂古 a-018, 右文古-199
293	盛唐	七絶 芙蓉樓にて辛漸を送る	王昌齡	698?-753?	三省堂古 a-060
294	盛唐	七絶 魚腹記	李復言		教出古 a-034+, 三省堂古 a-016+, 教研古-014, 第一古 b-184, 筑摩古-024, 東書古 a-021+, 右文古-197
295	盛唐	五絶 鹿柴	王維	699?-761?	大修館古 a-016+, 明治古 a-024+
296	盛唐	五絶 竹里館	王維	699?-761?	柳田古 a-025+
297	盛唐	五絶 雜詩	王維	699?-761?	筑摩古-101
298	盛唐	七絶 元二の安西に使いを送る	王維	699?-761?	三省堂古 a-016, 大修館古 b-220+, 東書古 a-096
299	盛唐	七絶 九月九日山東の兄弟を偲う	王維	699?-761?	第一古 a-021
300	盛唐	五古 送別	王維	699?-761?	東書古-165
301	盛唐	五絶 秋浦の歌	李白	701-762	三省堂古 a-016, 大修館古 b-220+, 東書古 a-096
302	盛唐	五絶 独り敬亭山に坐す	李白	701-762	第一古 a-020
303	盛唐	五絶 静夜思	李白	701-762	東書古 b-165
304	盛唐	五絶 王昭君	李白	701-762	東書古 a-317
305	盛唐	七絶 黃鶴樓にて孟浩然の広陵に之くを送る	李白	701-762	學園 3-214, 教出 1-193 / 三省堂 a-115+, 教研 a-116+, 第一古 a-116+, 大修館 a-130, 筑摩 a-135+, 東書 c-141, 明治 a-355+
306	盛唐	七絶 廬山の瀑布を望む	李白	701-762	教出 3-076, 三省堂 2A-020, 東書 2-108, 光村 2-150 / 三省堂 b-323, 第一 a-118+, 東書 b-345
307	盛唐	七絶 早に白帝城を発す	李白	701-762	東書 b-344+
308	盛唐	七絶 峨眉山月の歌	李白	701-762	三省堂 1B-035, 教出 a-302+, 桐原 a-032+, 教研 a-118+
309	盛唐	七絶 昇脚を興す	李白	701-762	東書 a-304
310	盛唐	七絶 山中対酌	李白	701-762	大修館古 b-223
311	盛唐	七絶 春夜洛陽に笛を聞く	李白	701-762	教研古-016
					三省堂古 b-211

312	盛唐	七絶	荘倫に廻る	李白	701-762	東唐 a-306	三省堂古 b-212, 大修館古 a-019+
313	盛唐	五律	友人を送る	李白	701-762	桐原 a-137+, 筑紫 a-141+	
314	盛唐	五律	魯郡の東の石門にて杜二甫を送る	李白	701-762	桐原 a-142+	教員古 a-080, 桐原古 a-090+, 大修館古 a-117, 東書古 a-097
315	盛唐	五古	月下の船歌	李白	701-762		教員古 b-242, 三省堂古 b-287, 教研古-080, 大修館古 a-024+, 東書古 a-072+, 明治古 b-251
316	盛唐	五古	子夜呉歌	李白	701-762		三省堂古 a-096
317	盛唐	七古	酒を把りて月に問う	李白	701-762	第一 a-126	教員古 a-044, 桐原古 a-040+, 三省堂古 a-042+, 教研古-046, 大修館古 a-128+, 筑紫古-057, 明治古 a-062
318	盛唐	七絶	春夜桃李の園に宴するの序	李白	701-762		三省堂古 b-211
319	盛唐	七絶	董大に聞る	高適	702-765		教研古-022, 東書古 a-026, 明治古 b-113
320	盛唐	七律	黃鶴樓	崔顥	704?-754		第一古 b-184, 大修館古 c-220
321	盛唐	五絶	絶句 五碧にして鳥いよいよ白く	杜甫	712-770	三省堂2A-024, 光村 2-148/桐原 a-130+, 大修館 a-139+, 筑紫 a-134+	大修館古 a-016
322	盛唐	五絶	絶句 暹日江山麗しく	杜甫	712-770	光村 3-076, 三省堂2A-022, 東書 2-016, 光村 2-149, 桐原 a-130+, 筑紫 a-140, 東書 b-318+, 明治 a-338+	
323	盛唐	五律	春望	杜甫	712-770	三省堂 c-276, 教研 a-120+, 第一 a-116+	教員古 a-036+, 三省堂古 b-213, 大修館古 a-023+, 東書古 a-086
324	盛唐	五律	月夜	杜甫	712-770		教研古-021, 大修館古 a-022, 明治古 b-112
325	盛唐	五律	旅夜に腸を書す	杜甫	712-770	教員 a-303+	三省堂古 a-019
326	盛唐	五律	春夜雨を喜ぶ	杜甫	712-770	東書 a-308	東書古 a-024+, 明治古 a-026
327	盛唐	五律	舟陽橋に登る	杜甫	712-770	桐原 a-1366+, 三省堂 b-325	
328	盛唐	五律	春日李白を憶う	杜甫	712-770	桐原 a-145+	桐原古 a-029+, 大修館古 b-227, 筑紫古-028, 東書古 a-098+, 石文古-201
329	盛唐	七律	登高	杜甫	712-770	三省堂 a-122, 教研 a-121+	大修館古 a-025+
330	盛唐	七律	秋興	杜甫	712-770		第一古 a-022
331	盛唐	七律	江村	杜甫	712-770		教員古 a-082, 第一古 a-102, 大修館古 a-118+, 筑紫古-102, 東書古 a-073
332	盛唐	五古	石壕吏	杜甫	712-770		明治古 a-074
333	盛唐	五古	衛八處士に贈る	杜甫	712-770		桐原古 a-092+, 三省堂古 a-097+, 教研古-091, 東書古 a-099, 明治古 b-252
334	盛唐	古詩	兵車行	杜甫	712-770		教研古-016, 第一古 a-021, 大修館古 a-020+, 東書古 a-022+
335	盛唐	古詩	麟中の作	岑參	715-770		東書古 a-025
336	中唐	五律	韜の日本に帰るを送る	錢起	722-780?		三省堂古 a-063+, 大修館古 a-154+
337	中唐	中律	人虎伝	李暹	756年進士		石文古-201
338	中唐	五律	陰夜石頭の駅に宿る	戴叔倫	732-789		東書古 a-021
339	中唐	五絶	秋夕	耿湋	734?	明治 a-334+	教研古-023
340	中唐	五絶	陰夜匡廬外に宿す	韋處物	786?-791?	大修館 c-314, 筑紫 a-135+	
341	中唐	七律	李儋・瓦廬に寄す	韋處物	786?-791?		第一古 b-252
342	中唐	五古	遊子吟	孟郊	751-814		教員古 b-270, 桐原古 a-103+, 三省堂古 a-106+, 教研古-078, 筑紫古-136, 明治古 b-223
343	中唐	中律	人面桃花	孟棻	崔暉：796年進士	大修館 a-168+	東書古 a-161
344	中唐	七律	左遷せられて藍田に至り嵒孫相に示す	韓愈	768-824		東書古 a-158
345	中唐	中律	孟東野に身うる書	韓愈	768-824		

346	中唐	雜説		韓愈	768-824		768-824	教出 a-308, 柳原 a-140+, 三省堂 a-140+, 教研 a-138+, 大修館 a-150+, 筑摩 a-136+, 東書 c-144	第一古 a-050, 大修館古 c-288, 東書古 b-171, 明治古 b-121
347	中唐	師の説		韓愈	768-824		768-824	教出古 a-098, 柳原古 a-046+, 三省堂 a-108, 大修館古 a-124+, 筑摩古-060, 明治古 a-064	
348	中唐	細相孔、司徒北平王の家に猫子を生んで日を向くする者あり		韓愈	768-824		768-824	第一古 b-270	
349	中唐	柳子厚墓誌銘	陸詩紀事1	韓愈	768-824		768-824	筑摩古-140	
350	中唐	柳子厚墓誌銘	張彦	韓愈	768-824		768-824	第一古 a-007+, 明治古 a-007+	
351	中唐	風齋夜泊		劉禹錫	772-846		772-846	三省堂古 a-018, 筑摩古-025, 東書古 a-023+, 右文古-198	
352	中唐	七絶 秋風の引		白居易	772-846		772-846	柳原古 a-024+, 第一古 a-020, 筑摩古-025, 東書古 b-165	
353	中唐	七絶 舟中にて元九の詩を讀む		白居易	772-846		772-846	明治古 b-111	
354	中唐	五律 除夜 弟妹に寄す		白居易	772-846		772-846	第一古 a-022	
355	中唐	七律 八月十五日夜禁中に鐘り直し月に對して元九を憶う		白居易	772-846		772-846	三省堂古 a-020+	
356	中唐	七律 香如藤下に新たに山原をトし草堂初めて成る關東巖に題す		白居易	772-846		772-846	東書古 b-169, 明治古 a-027	
357	中唐	七古 長恨歌		白居易	772-846		772-846	教出古 a-084, 柳原古 a-095+, 三省堂古 a-100+, 教研古-126, 第一古 a-104, 大修館古 a-142+, 筑摩古-105, 東書古 a-122+, 明治古 a-076, 右文古-243	
358	中唐	七古 亮炭翁		白居易	772-846		772-846	東書古 a-130	
359	中唐	詩 (御詠句)		白居易	772-846		772-846	筑摩古-147	
360	中唐	七絶 敬之に与ふるの書		白居易	772-846		772-846	東書古 a-120+	
361	中唐	五絶 江雪		柳宗元	773-819		773-819		
362	中唐	七古 漁翁		柳宗元	773-819		773-819	筑摩古-101, 東書古 a-165	
363	中唐	七古 薛存義の任にゆくを送るの序		柳宗元	773-819		773-819	教出古 b-248, 三省堂古 a-046, 東書古 a-080, 明治古 b-123	
364	中唐	補記者の説		柳宗元	773-819		773-819	教出古 a-094, 三省堂古 a-160+, 教研古-118, 大修館古 a-051+, 筑摩古-092, 東書古 a-162, 右文古-191	
365	中唐	黔の驢		柳宗元	773-819		773-819	第一古 a-052, 筑摩古-020	
366	中唐	黔江の鰲		柳宗元	773-819		773-819		
367	中唐	三夢記		李賀言	765-826		765-826	第一古 b-272	
368	中唐	三夢記		李賀言	765-826		765-826	柳原古 a-112	
369	晚唐	定婚店		許渾	807-854		807-854	大修館古 a-078+	
370	晚唐	政母陳の東樓		杜牧	803-853		803-853	大修館古 a-026+, 筑摩古-029, 右文古-202	
371	晚唐	七絶 別れに贈る		杜牧	803-853		803-853	大修館古 a-018+	
372	晚唐	七絶 烏江亭に題す		杜牧	803-853		803-853	三省堂古 a-018+	
373	晚唐	七絶 江南の春		杜牧	803-853		803-853	教研古-017, 大修館古 a-017+, 東書古 a-102	
374	晚唐	七絶 山行		杜牧	803-853		803-853	筑摩古-026	
375	晚唐	五絶 酒を飲む		李賀言	810?-?		810?-?	教研古-015, 大修館古 a-018	
376	晚唐	五絶 秦遊原に登る		高群	1007-1072		1007-1072	東書古 a-101	
377	晚唐	七絶 山亭の夏日		歐陽脩	1007-1072		1007-1072	教出古 a-092+, 三省堂古 a-156, 教研古-094, 第一古 a-054+, 大修館古 b-277	
378	北宋	先帝翁		歐陽脩	1007-1072		1007-1072	明治古 a-068	
379	北宋	醉翁亭記		歐陽脩	1007-1072		1007-1072		

380	北宋	愛理の説	周敦頤	1017-1073	明治b-140	三省堂古a-044+, 筑藩古-022
381	北宋	孟嘗君伝を読む	王安石	1021-1086		第一古b-276
382	北宋	蘇夜	蘇軾	1036-1101		第一古b-185, 大修館古b-222, 明治古a-028+
383	北宋	澄邁縣の通判閣	蘇軾	1036-1101		教研古-018
384	北宋	赤壁の賦	蘇軾	1036-1101		三省堂古a-164+, 教研古-122, 右文古-236
385	北宋	医家談笑	蘇軾	1036-1101		第一古a-066
386	北宋	雨中岳陽樓に登り青山を望む	黄庭堅	1045-1105		教研古-019
387	北宋	烏江	李綱	1084-?		明治古a-045+
388	南宋	陸游	陸游	1125-1210?		三省堂古a-021+, 第一古b-187, 明治古a-028+
389	南宋	入蜀記	陸游	1125-1210?		第一古a-068
390	元	天下大同を貫ぶ	劉基	1311-1375		教研古-086
391	元	光相者の言	劉基	1311-1375		第一古a-112
392	元	賢母拾遺を録す	陶宗儀	1316-?		第一古a-072
393	明	胡隱君を慕ぬ	高啓	1336-1374		教研古-015, 大修館古b-218
394	明	唐詩絶句の誤字	楊慎	1488-1559		教研古-088
395	明	奇花石	許慎	1507-1560		第一古a-114
396	明	道平かならば人皆道に由らん	呂坤	1536-1618		第一古a-116
397	明	稗聞を録る	『医方外』/『五雜俎』	唐夢龍: 1574-1646		教研古b-180, 三省堂古a-011
398	清	氣を種う	『聊齋志異』	蒲松齡: 1640-1715		柳原古a-107+
399	清	酒虫	『聊齋志異』	蒲松齡: 1640-1715		三省堂古b-252, 明治古b-227
400	清	落言裁判	明公成: 1723年進士			教研古-082
401	清	字を為す	彭端淑	1699-1779		第一古a-148
402	清	養生書名借るの説	葛洪	1716-1797		第一古a-150
403	清	赤壁	趙翼	1727-1814		右文古-241
404	清	夢語の巧合	俞樾	1821-1907		第一古a-153
405	現代	故郷	魯迅	1881-1936	学園3-260, 教出3-102, 三省堂3B-036, 東叢3-148, 光村3-108	
1	大和	五言・臨終一絶	大津皇子	663-686		東書古a-028+
2	平安	門を出でず	菅原道真	845-903		柳原古a-034+, 第一古a-024+
3	平安	梅花	菅原道真	845-903		教研古-136
4	平安	九月十日	菅原道真	845-903		教出古a-122+
5	平安	旅雁を聞く	菅原道真	845-903		筑藩古-090, 明治古b-267
6	平安	家書を読む	菅原道真	845-903		明治古a-136
7	平安	(明詠句)	菅原道真	845-903		東書古a-131
8	平安	(明詠句)	尊敬			東書古a-131
9	平安	能登殿の最期	『日本外史』	堀ノ浦: 1185		明治古a-140
10	室町	深耕の説	義堂智信	1325-1388		明治古a-138
11	室町	野古の鳥の節房の塵に題す	絶庵中津	1336-1405		教研古-137
12	戦国	信玄何くにいる	『日本外史』	武田信玄: 1521-1573		教出古a-125+, 大修館古a-073, 東書古a-091+, 右文古-188
13	戦国	信玄何くにいる	『日本外史』	武田信玄: 1521-1573		教研古-140, 筑藩古-129
14	戦国	諸将信玄に服す	『日本外史』	武田信玄: 1521-1573		東書古a-093+

15	江戸 七絶	富士山	石田文山	1583-1672	明治 b-146	明治古 a-136+
16	江戸	兼山の遠慮	[先哲叢談]	野中兼山：1615-1663	明治	東書古 a-017, 右文古-271
17	江戸	字は知行を兼ね	伊藤仁斎	1627-1705		筑書古-096
18	江戸	仁斎赤貧	[先哲叢談]	伊藤仁斎：1627-1705		大修館古 b-278
19	江戸	人、聖人に非ず	貝原益軒	1630-1714		東書古 a-049
20	江戸	即非	新井白石	1657-1725		筑書古-030
21	江戸	性は学者の急とする所に非ず	荻生徂徠	1666-1728		桐原古 a-151+
22	江戸	徂徠書店	荻生徂徠	1666-1728		明治古 b-269
23	江戸 七絶	冬夜読書	菅茶山	1748-1827		教出古 a-123+, 三省堂古 a-072+, 第一古 a-024+, 大修館古 a-071
24	江戸	借除	佐藤一斎	1772-1859		明治古 b-270
25	江戸 七古	天草津に泊す	頼山陽	1780-1832		三省堂古 a-073+
26	江戸 七絶	不識菟丸山を撃つのが因に題す	頼山陽	1780-1832		桐原古 a-035+, 教研古-138, 大修館古 a-074
27	江戸 七絶	桂林壮雑詠、誰在に示す	広瀬淡窓	1782-1856	明治 a-341+	教出古 a-123+, 三省堂古 a-073+, 大修館古 a-071+, 東書古 a-029+
28	江戸	敬冬一枝	飯田黙叟	1798-1860		三省堂古 a-074
29	江戸 七絶	まさに某遊せんとして暫に題す	月性	1817-1858		大修館古 a-070+
30	江戸 七絶	火輪車中の作	成島紳北	1837-1884		桐原古 a-038+
31	明治	帆西日記	森岡外	1862-1922		三省堂古 a-076+
32	明治 五絶	君を思う	中野道通	1867-1894		桐原古 a-036+
33	明治 五律	夏目漱石の伊予に之くを送る	正岡子規	1867-1902		三省堂古 a-075+, 第一古 a-025+
34	明治 五絶	自画に題す	夏目漱石	1867-1916		教出古 a-124+
35	明治 五絶	無題	夏目漱石	1867-1916		筑書古-031, 明治古 a-137
36	明治 七絶	自画に題す	夏目漱石	1867-1916	明治 a-341+	三省堂古 a-075+, 教研古-138, 大修館古 a-072+, 東書古 a-030
37	明治 七絶	風流人いまだ死せず	夏目漱石	1867-1917		東書古 b-250

別表2 平成22～24年度未検定済の中学校・高等学校の国語の教科書で扱われなくなった漢文教材一覧

No	時代	文体	教材	出典／作者	生卒	中学校「国語」/高等学校「国語総合」 (平成16/17年度未検定済)	高等学校「古典」 (平成14～19年度未検定済)
ア	上古	盤瓠			高平氏		明治古251
イ	春秋	負指動く		『搜神記』	BC905		三省堂古012
ウ	春秋	廉孟		『春秋石氏伝』宣公四年	魏莊王：位 BC613-BC591		第一古108
エ	春秋	晏子楚に使へす		『史記』滑稽列伝	晏嬰：?-BC500		教出古 b-008
オ	春秋	吾回と言ふこと終日、遺わざること		『晏子春秋』	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-085
カ	春秋	朝に還を問かば		『論語』102為政	孔子：BC552?-BC479		筑摩古052
キ	春秋	賢を見ては羞しからんと思ひ、不賢		『論語』104里仁	孔子：BC552?-BC479		教出 a-307
ク	春秋	衛武子、翔に道あれば則ち知なり		『論語』105公冶長	孔子：BC552?-BC479		筑摩 a-125
ケ	春秋	之を亡せん。命なるかな。斯の人に		『論語』106雍也	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-091, 大修館古2-264
コ	春秋	して、斯の疾有り。		『論語』107述而	孔子：BC552?-BC479		
ク	春秋	子 回を以て教う。文行忠信		『論語』107述而	孔子：BC552?-BC479		筑摩古047
カ	春秋	子は温にして厲し。威にして猛から		『論語』107述而	孔子：BC552?-BC479		大修館古2-256
シ	春秋	や		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		東洋古144
ス	春秋	まことに吾之を縦にして得に聖なら		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		筑摩古048
セ	春秋	賢問賢として敬じて曰く、之を仰		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		
ソ	春秋	げば窮蹙く		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		
タ	春秋	後生 畏ふべし		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		東洋古144
チ	春秋	歳寒くして然る後に松柏の彫るに		『論語』109子罕	孔子：BC552?-BC479		大修館古2-264, 筑摩古049
ツ	春秋	働すること有るか。夫の人の為に働		『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479		
テ	春秋	すに非ずして		『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479		
ト	春秋	吾 女を以て死せりと為すと		『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479		
ナ	春秋	苟も其の身を正しくせば		『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479		東洋古050
ニ	春秋	懲有る者は必ず言有り、言有る者必		『論語』14蘧問	孔子：BC552?-BC479		筑摩古046
フ	春秋	すしも懲有らず		『論語』14蘧問	孔子：BC552?-BC479		
ヘ	春秋	天を怨みず、人を尤めず、下学して		『論語』14蘧問	孔子：BC552?-BC479		
ホ	春秋	上達す。		『論語』14蘧問	孔子：BC552?-BC479		
ニ	春秋	粗豆の事は明らかつて之を聞けり。		『論語』15衛霊公	孔子：BC552?-BC479		
フ	春秋	軍旅の事はいまだみだるを学ばざるなり		『論語』15衛霊公	孔子：BC552?-BC479		
ス	春秋	人、道を懲る無ければ、必ず近き要		『論語』15衛霊公	孔子：BC552?-BC479		
セ	春秋	い有り		『論語』15衛霊公	孔子：BC552?-BC479		筑摩古045
ノ	春秋	経者三友、損者三友。直きを友とし、		『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479		
ハ	春秋	詭を友とし		『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479		筑摩古045
ヒ	春秋	飽食すること終日、心を用いる所無		『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		教出古 a-088
フ	春秋	きは、難きかな		『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		
ヘ	春秋	君子は歳以て上と為す。君子勇有り		『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		明治古149
ト	春秋	て義無ければ		『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		明治古261
フ	春秋	有る之器		『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479		
フ	春秋	予誦、士は己を知る者の為に死す		『史記』刺客列伝	荆軻子：位 BC157-BC105		

ハ	戦国	無事を以て天下を取る	「老子」57章	老子：BC400頃？	大修館古2-260, 東書古*152
ホ	戦国	若し天下を以て兼ねて相愛し、人を愛すること	「墨子」兼愛上	墨翟：BC468?-BC376	三省堂古136
マ	戦国	吾が老を老とし、	「孟子」01梁恵王上	孟子：BC372?-BC288?	大修館古2-286
ミ	戦国	幾舜より湖に至るまで五百有餘歳、	「孟子」07尽心下	孟子：BC372?-BC288?	大修館古2-258
ム	戦国	社子兼死す。恵子之を母う	「陸子」外篇至梁	莊周：BC369?-BC286?	東書古146
メ	戦国	襄中の難	「十八史略」	平原君：?-BC251	東書古146
モ	戦国	天行常有り。幾の爲に存せず、衆の爲に亡びず	「荀子」天論	荀況：BC313?-BC238?	三省堂古135
ヤ	戦国	君主の二柄	「韓非子」07二柄	韓非：BC292?-BC233	明治古280
ユ	秦	劉邦、東周に天子の氣あり	「史記」高祖本紀	劉邦：BC247?-BC196	東書古107
ヨ	秦	田公桑宮に入る	「史記」留侯世家	劉邦：BC247?-BC196	東書古080
ラ	秦	天の我を亡ぼすにして戦いの罪に非ざるなり。	「史記」項羽本紀	項羽：BC232?-BC202	大修館古1-207
リ	前漢	伯俞、杖に泣く	「説苑」	伯俞	
ル	後漢	去る者は日に以て疎し	「文選」	柳原 b-286	勉誠古107, 東書古061
レ	西晋	劉伶酒を嗜む	「世説新語」	劉伶：泰始(265-274)初	教山古 b-014
ロ	東晋	白水素女	「神異記」	東晋武帝：位386-418	第一古032
ワ	初唐	裴子雲の前業	張鷟	裴一 a-122	
カ	盛唐	五律 王維に留別す	孟浩然	孟浩然 a-106	三省堂古019
キ	盛唐	七絶 從軍行	王昌齡	688?-752	大修館古1-178
ク	盛唐	五古 長干行	李白	688?-761?	三省堂古022
ケ	盛唐	古詩 符離酒	李白	688?-761?	東書古019
コ	盛唐	七絶 除夜の作	高適	701?-765	大修館古2-203
サ	盛唐	五律 月夜寄暹羅を憶う	杜甫	712-770	大修館古2-206
シ	盛唐	五古 新婦別	杜甫	712-770	大修館古1-182
ス	盛唐	古詩 貧交行	杜甫	712-770	東書古023
セ	盛唐	七絶 京に入る戦いに逢う	岑参	右文287	明治古241
ソ	中唐	七絶 秋思	張籍	右文287	東書古021
タ	中唐	五律 華	白居易	右文259	東書古024
チ	中唐	負轡の伝	柳宗元	773-819	教山古042
ツ	晚唐	清明	杜牧	明治 a-287	
テ	晚唐	七絶 夜雨北に驚す	李商隱	812?-858	東書古102
ト	北宋	明堂論	歐陽脩	1007-1072	東書古183
ナ	北宋	七絶 鍾山即事	王安石	1021-1086	東書古103
ニ	北宋	七絶 仲永を稱む	王安石	1021-1086	第一古136
ノ	北宋	養魚記	程頤	1032-1107	勉誠古016

ね	北条七絶	六月二十七日望湖楼醉书	蘇軾	1036-1101	第一 a-124	東書古103
の	北宋	新開湖の漁人	蔡絛	蔡京1047-1126の子		
は	南宋	虫鳥の智	洪邁	1123-1202	第一 a-126	
ひ	清	桃を偷む	【聊齋志異】	蒲松齡：1640-1715		筑摩古084
ふ	平安	瑠ノ浦	【日本外史】	瑠ノ浦：1185		教出古 b-094
へ	室町七絶	山家	絶海津津	1306-1405		東書古077
は	戦国七絶	九月十三夜	上杉謙信	1530-1578		明治古286
ま	戦国	補秋間	【日本外史】	補秋間：1560		教出古 *b-069
み	江戸七絶	伊藤仁斎、君子は争う所無し	伊藤仁斎：1627-1705			教出古 a-108
む	江戸七絶	牽牛花	六如	1734-1801		筑摩古027
め	江戸七古	世を渉るの道	佐藤一斎	1772-1859		東書古080
や	江戸七絶	本能寺	頼山陽	1780-1832		教出古 b-101
ゆ	江戸七絶	山行 同志に示す	草場圃川	1787-1867	石文262	
		雲は羨顔に漸たわりて霧何くにか在る	大塚粹溪	1801-1878		大塚館古1-268
よ	江戸七絶	團成	西郷隆盛	1827-1877		大塚館古1-264